

平成27年度 事業報告

日本の60歳以上人口は、今年3月の人口推計において、約4,300万人となっており、その内、65歳以上の高齢者人口は約3,300万人、高齢化率は25%を超える状況となっています。

本市にあっては、今年4月時点において、60歳以上人口は、約66,000人、その内、65歳以上の高齢者人口は、約54,000人、高齢化率は国と比較し、若干低いものの、全人口234,000人に占める割合は23%と、高齢化が着実に進んでいる状況となっています。

高齢者の内、全国で約600万人を超える団塊の世代の退職に伴い、急激な労働力不足が予測されておりましたが、多くの企業において60歳定年後の継続雇用が進んだことなどもあり、大きな問題となることはありませんでした。

定年に伴う大量の退職は主に男性労働力をイメージしたのですが、国の統計から見ると、男性の就業率は、60歳や定年後の継続雇用が終了する65歳になったときに急に減少するわけではなく、60歳になったときから徐々に少なくなっていく、67歳になったときに約半分になるということが分っています。

また、人口減少社会へ突入したことに伴い減少する労働力により、国の活力の低下が懸念される中、労働力人口を維持する施策として高齢者の活用が期待されているところです。

このような状況において、高齢者が就労を通じて、地域での居場所を得ることや高齢者が培った知識、経験を生かして地域社会の支え手として、地域社会の活性化を図ることを目的としたシルバー人材センターの役割、責務はますます増大していくものと考えられます。

平成27年度においては、シルバーサポーターにより引き続き高齢者の就業機会の確保及び提供に努めるとともに、平成28年度に向けて設置要綱を整備いたしました。また、派遣労働を希望する派遣会員を対象に一般労働者派遣事業を適正に実施するほか、シルバー人材センターとしての責務、役割を果たすために、様々な活動を行ってまいりました。

その結果、昨年度、会員配分金実績が初めて3億円を超える状況となっており、今後も引き続き「はつらつYAMATO」による基本計画をもとに着実に事業を推進してまいります。

以下主な事業についてご報告申し上げます。

(1) 就業機会の確保及び提供

- ①会員・理事及び事務局職員が一体となり就業方法を検討し、事業PRや就業案内を行いました。
- ②会員・役員が一丸となって、月1回入会説明会を開催し、新規会員獲得のため入会促進を図り、会員の増強に努めました。
- ③「シルバーまつり」の開催や各種のイベントに積極的に参加し、シルバー事業の普及啓発や来訪者に対する入会促進キャンペーンを実施しました。
- ④女性会員の希望に見合った仕事の開拓や、魅力を感じる職域の開発を積極的に行い、女性会員の入会促進を図りました。
- ⑤愛称「はつらつYamato」を広く周知し、積極的に活用を図り、親しみあるシルバーのPRを行いました。
- ⑥新たなニーズへの対応や、受注機会の確保・拡大を図るため、専門技術のある会員を講師とした技能講習会を実施し、技能系会員の養成及び促進に努めました。
- ⑦ローテーション就業及びワークシェアリングを推進し、公平な就業機会の提供と就業率の向上を図りました。
- ⑧会員の就業要望に対して、シルバーサポーターによる就業相談を実施しました。
- ⑨シルバー事業（請負・委任）になじまない就業については、発注者の理解を得て、契約内容の見直しを行い、法令に遵守した就業を図りました。
- ⑩シルバーサポーターを活用し、企画・事業部門への参画や、入会促進、就業開拓などを積極的に行い、事務局事業運営の充実を図りました。

(2) 職業紹介事業及び一般労働者派遣事業

- ①高齢者の多様なニーズに応えるため、就職を希望する高齢者に、臨時的かつ短期的な雇用による「職業紹介事業」を行いました。
- ②派遣労働を希望する派遣会員を対象に、臨時的かつ短期的な雇用による「一般労働者派遣事業」を実施しました。

(3) 技能講習等

会員の知識や技能・技術の向上、後継者の育成を図るため、各種講習会を開催しました。

- ①パソコン講習会
- ②植木剪定講習会
- ③刈払機操作講習会
- ④襖張り替え講習会

(4) 高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進

- ① ボランティア活動を積極的に推進するため、10月の「全国シルバー人材センター事業普及啓発月間」期間中に、会員によるボランティア活動を実施し、地域との連携強化に努めました。

(5) 多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業

- ① 全国シルバー人材センター事業協会、神奈川県シルバー人材センター連合会、ハローワーク等から各種情報の収集に努めました。
- ② 「広報やまと」や地域の「ミニコミ紙」、「ホームページ」などを活用し、シルバー事業のPRに努めました。
- ③ センターからの最新情報や会員相互のコミュニケーションを図るため、年2回、広報編集委員会による会報「福寿」を発行しました。

(6) その他必要な事業

- ① 毎月1回「入会説明会」を実施し、センター事業の趣旨に賛同した健康で働く意欲と能力を持つ会員の拡大に努めました。
- ② 安全就業対策の一環として、月1回、職群班別の安全会議等を実施しました。
- ③ 安全管理委員会による就業現場への巡回・指導を充実させ、安全管理体制を強化しました。
- ④ 会員等が自分の体力や健康状態を把握し、心身ともに健全な状態で就業できるよう「健康講演会」を開催しました。
- ⑤ 会員等の安全に対する意識と自覚の高揚を図るため、関係機関の協力を得て、「交通安全講習会」を開催し、就業途上等の交通事故の防止に努めました。
- ⑥ 会員更新手続き時に、「会員状況調査票」により、会員の就業希望調査を行うほか、面談による健康状態の確認を行い、会員の健康管理に努めました。
- ⑦ 会員相互の親睦や連帯意識の高揚を図るため、会員ふれあい事業を実施しました。
- ⑧ 組織の充実に努め、会員による主体的運営の強化を図りました。